

# 幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況

～2017年6月「幼児視聴率調査」から～

世論調査部 星 暁子 / 渡辺洋子

2017年6月に実施した「幼児視聴率調査」の結果から、幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況を報告する。調査は、東京30キロ圏に住む2～6歳の幼児1,000人を調査相手として、6月5日(月)～11日(日)の1週間実施した。

幼児が1日にテレビを見る時間は1時間41分(週平均)。テレビ視聴時間は、2007年以降2時間程度で推移していたが、2012年に減少して初めて2時間を下回り、以降緩やかな減少傾向にあった。しかし、今回は前年と同程度であった。また、幼児が録画番組やDVDを再生利用している時間は55分(週平均)で、2011年から2013年にかけて増加し、それ以降は同程度で推移しており、両者の差が縮まっている状況は変わらない。

調査期間中によく見られたテレビ番組は、「おかあさんといっしょ」「みいつけた!」などEテレの幼児向け番組や、「ドラえもん」「サザエさん」など民放のアニメ番組であった。

さらに付帯質問の結果をみると、幼児の「携帯電話・スマートフォン」や「タブレット端末」といったモバイル端末の利用率は着実に伸びている。また、録画DVD再生を利用する幼児は横ばいで推移する中、インターネット動画を見る幼児の増加が続いている。

## はじめに

2017(平成29)年6月「全国個人視聴率調査」(対象は全国7歳以上)<sup>1)</sup>と同時期に実施した、「幼児視聴率調査」の結果を報告する。

調査は6月5日(月)～6月11日(日)の1週間、東京駅から30キロ圏内に住む2～6歳の未就学児を対象に実施した。住民基本台帳から層

化無作為2段抽出した幼児1,000人(10人×100地点)に郵送法(15分単位日記式、保護者による代理記入)で行い、有効数は517人(有効率51.7%)であった。有効サンプルの構成は表1のとおりである。

なお、回答している保護者の95%は母親であるため、以下の本文では保護者のことを母親と表記する。

表1 サンプル構成

全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児	その他不明
517人	270	247	95	131	126	165	204	258	51	4
100.0%	52.2	47.8	18.4	25.3	24.4	31.9	39.5	49.9	9.9	0.8

# 1. テレビ全体の視聴状況

## (1) テレビ視聴時間

### 長期的に緩やかな減少傾向

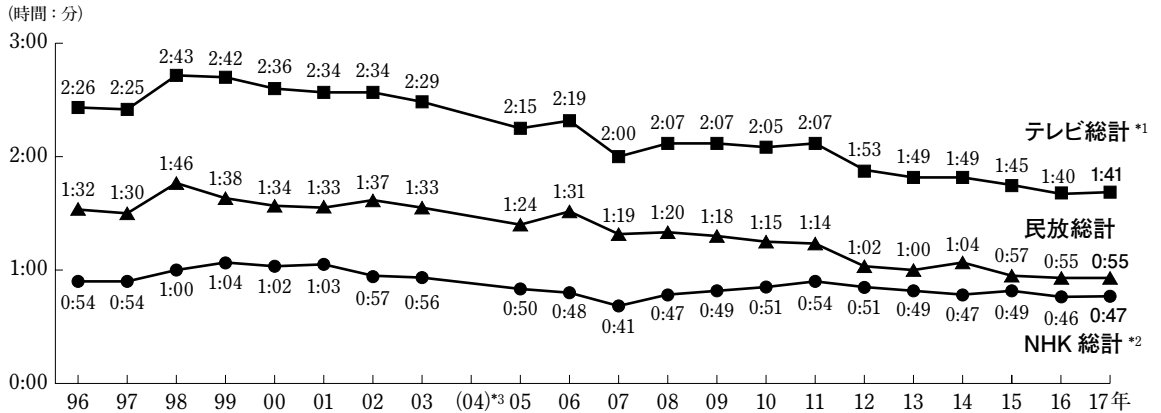
今回、2～6歳の幼児のテレビ視聴時間<sup>2)</sup>は、週平均1日あたり1時間41分で前年(1時間40分)と変わらなかった(図1)。これまでの長期的な推移をみると、幼児のテレビ視聴時間は1998年(2時間43分)から漸減している。2007年以降は2時間程度の水準で推移していたが、2012年に初めて2時間を下回って

減少し、2013年以降緩やかに減少傾向にあったが、今回は前年と変わらない。

NHK・民放別には、NHK総計47分(前年46分)に対し、民放総計は55分(前年55分)であり、いずれも前年と同程度であるが、民放総計は2015年から1時間を下回っている。NHK総計の内訳をみると、総合3分、Eテレ(教育)42分、衛星計1分で、NHK視聴の9割近くはEテレに充てられている。

年齢別にテレビ総計の視聴時間をみると(表2)、前々年は年齢が上がるにつれ視聴時

図1 テレビ視聴時間の推移(1日、週平均)



\*1 テレビ総計は、民放総計(民放地上波と民放衛星波)とNHK総計(NHK地上波とNHK衛星波)の計  
 \*2 NHK総計のうち衛星波は2007年まではBS1・BS2の2波計、2008～2010年はBS1・BS2・BSハイビジョンの3波計、2011年以降はBS1・BSプレミアムの2波計  
 \*3 2004年は「幼児視聴率調査」を実施していない

表2 NHK・民放別平均視聴時間(1日、週平均)

(時間:分)

		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	15年	1:45	1:40	1:51	1:39	1:43	1:46	1:51
	16年	1:40	1:35	1:46	1:43	1:31	1:47	1:43
	17年	1:41	1:43	1:39	1:46	1:33	1:40	1:45
NHK総計	15年	0:49	0:46	0:52	0:55	0:50	0:49	0:42
	16年	0:46	0:43	0:48	0:54	0:42	0:44	0:42
	17年	0:47	0:49	0:44	0:56	0:49	0:42	0:43
民放総計	15年	0:57	0:55	0:59	0:44	0:52	0:57	1:08
	16年	0:55	0:51	0:58	0:49	0:48	1:03	1:00
	17年	0:55	0:54	0:55	0:50	0:44	0:58	1:02

間が長くなる結果であったが、前年同様、今回はその傾向がみられず、3歳が1時間33分と短い。NHK・民放別にみると、NHK総計の視聴時間は、2歳が56分と長く、次いで3歳で49分、4～6歳で42～43分と年齢が上がるにつれ、短くなる傾向がある。逆に民放総計は4～6歳で1時間程度と、2～3歳に比べて長めである。

次に、曜日別のテレビ総計の視聴時間をみると(表3)、全体で平日平均は1時間40分、土曜は1時間37分、日曜は1時間52分である。いずれの曜日も前年、前々年と比べて変化はない。年齢別にみると、平日は2歳が他の年齢に比べて長めで、日曜は5・6歳が長めである。これは、2歳児が、平日のEテレの帯番組をよく見ており、5・6歳児は日曜に多く放送される民放の人気アニメ番組などをよく見ていることによる。

曜日別のNHK・民放別視聴時間は図2のとおりである。平日はNHK総計のほうが民放総計より長いが、土曜・日曜はNHK総計の視聴時間が平日より短くなり、日曜はNHK総計18分に対して、民放総計が1時間33分と、民放総計がNHK総計を大きく上回る。

## (2) 幼児と母親の視聴時間の関連

幼児のテレビ視聴と母親の視聴時間との関係をみていく。本調査では、付帯質問で母親の平日1日あたりのテレビ視聴時間を選択肢で尋ねている。これまでの幼児視聴率調査などから、幼児の視聴時間は、母親の視聴時間やテレビの見せ方が影響しているという知見が得られている<sup>3)</sup>。今回の結果でも、母親の視聴時間が3時間以上と「長時間」テレビを見ている層では、幼児の視聴時間が2時間50分と長めで、母親の視聴時間が2時間未満と比較

表3 曜日別平均視聴時間(テレビ総計)

(時間:分)

	全体			男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
	15年	16年	17年						
平日	1:47	1:40	1:40	1:40	1:39	1:47	1:33	1:39	1:41
土曜	1:32	1:35	1:37	1:43	1:30	1:35	1:33	1:32	1:43
日曜	1:52	1:48	1:52	1:53	1:51	1:47	1:36	1:54	2:07

図2 曜日別NHK・民放別の平均視聴時間

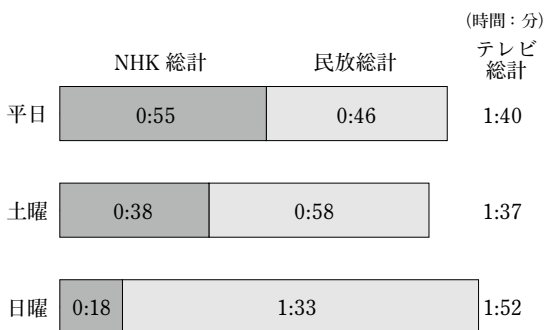


表4 母親の視聴時間別にみた幼児の視聴時間(テレビ総計, 1日, 週平均)

(時間:分)

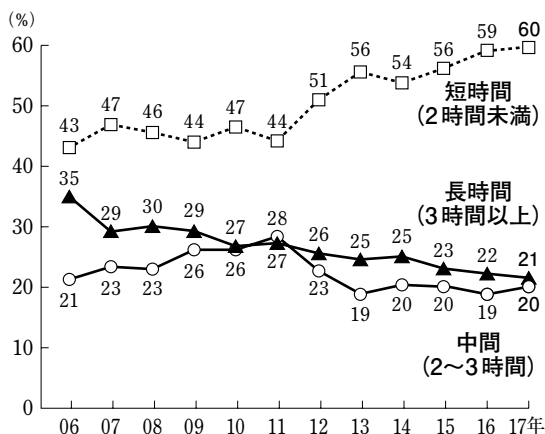
	全体	短時間 (2時間未満)	中間 (2～3時間)	長時間 (3時間以上)
15年	1:45	1:18	2:02	2:40
16年	1:40	1:13	1:53	2:44
17年	1:41	1:08	2:10	2:50

17年のサンプル数 308人 102人 106人

的「短時間」である層では、幼児の視聴時間も1時間08分と短かった(表4)。

母親の視聴時間の長期推移をみると(図3)、幼児の視聴時間が減少した2007年に母親の「長時間」層の減少、同じく2012年に「短時間」層の増加が起きていることがわかる。「短時間」層の割合は2012年に半数を超え、以降も増加傾向が続いて、今回6割となった。母親の視聴時間の減少が、幼児の視聴時間の長期的な減少に関係しているのではないかと考えられる。

図3 母親の視聴時間の推移



### (3) 最もよく見るチャンネルはEテレ

次に、調査を実施した1週間に、少しでも(15分以上)テレビを見た幼児の割合である週間接触者率をみてる(表5)。テレビ総計の週間接触者率は89.9%で前年(92.1%)と同程度である。

局別にみると、Eテレが72.3%と最も高く、テレビ朝日、フジテレビ、NTVが同程度で続き、次いでテレビ東京の順となっている。Eテレは2~3歳では最も接触者率が高く8割程度、接触者率が低めな4~6歳でも7割弱が接触している。民放では、テレビ朝日とフジテレビが4~6歳で5割以上と、比較的高年齢の幼児に見られている。またフジテレビとNTVはどの年齢でも4割以上に見られている。

表6に2007年からの各局の週間接触者率の推移を示した。Eテレは2007年から80%前後で推移していたが、2012年からは70%台前半となっている。民放各局は2014年から2015年にかけて減少した局が多かったが、その後は同程度で推移し、今回は前年に比べて変化がなかった。テレビ東京は前々年より減少している。

表5 局別週間接触者率(年齢別)

	全体	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	89.9	88	88	90	93
NHK 総計	77.4	85	82	73	73
総合	19.7	14	19	19	24
Eテレ	72.3	80	77	68	67
NTV	47.4	45	44	46	53
朝日	51.8	37	41	56	66
TBS	23.6	17	18	27	30
東京	33.1	24	28	33	42
フジ	49.7	40	42	52	59

■は全体より統計的に高い\*

\*全体に対する各年齢層の特徴をみるために、該当する層と、全体から該当する層を除いた残りの層で「互いに独立な%の差の検定」を行った結果。以下の検定式を用いている(以下同様)

$$z = \frac{|p_1 - p_2|}{\sqrt{p_1(100 - p_1) \left( \frac{1}{n_2} - \frac{1}{n_1} \right)}}$$

- ・ サンプル数: (全体)  $n_1$ 、(一部)  $n_2$
- ・ 割合(%): (全体)  $p_1$ 、(一部)  $p_2$
- ・  $z = 「1.960」$ 以上なら「有意水準(危険率)5%で」有意差あり

NHK・民放各局の時間帯別平均視聴率をみると(表7)、Eテレは1日の平均で3.8%と最もよく見られ、午前(6.0%)と午後(3.2%)の時間帯によく見られている。民放の中では、夜間のNTV(2.7%)とフジテレビ(1.8%)が高めである。

表6 局別週間接触者率の推移

(%)

	2007	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17年
総合	24	30	24	25	24	30	31	28	19	23	20
Eテレ	80	80	81	77	81	73	74	71	73	73	72
NTV	57	54	54	55	54	58	49	56	49	45	47
朝日	69	66	71	62	69	57	57	62	55	54	52
TBS	44	47	39	37	34	28	24	23	20	22	24
東京	61	63	66	59	55	47	42	47	44	39	33
フジ	74	77	76	67	69	64	61	64	51	50	50

(整数値で比較)

表7 局別時間帯別平均視聴率(週平均)

(%)

時間帯*	総合			Eテレ			NTV			朝日			TBS			東京			フジ		
	15	16	17	15	16	17	15	16	17	15	16	17	15	16	17	15	16	17	15	16	17年
午前	0.4	0.4	0.4	6.1	6.0	6.0	1.4	1.0	1.3	1.0	0.9	0.9	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.4	1.1	1.2	1.1
午後	0.2	0.1	0.1	3.3	2.9	3.2	0.5	0.7	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2
夜間	0.5	0.4	0.5	1.9	1.8	1.9	2.3	1.9	2.7	1.1	1.1	1.1	0.4	0.4	0.7	1.1	0.9	0.7	2.0	2.0	1.8
1日	0.4	0.3	0.3	3.9	3.6	3.8	1.4	1.2	1.5	0.7	0.7	0.7	0.2	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	1.1	1.2	1.0

\* 午前：前5:00～後0:00 午後：後0:00～後6:00 夜間：後6:00～前0:00 1日：前5:00～前0:00

#### (4) 平日のテレビ視聴状況は変化なし

幼児の平日1日のテレビ視聴状況を30分ごとに時間を追って、平均視聴率をグラフにしたものが図4である。平日、幼児がテレビをよく見ている時間は、午前6時30分～9時と、午後4時30分～9時である。これは、特に朝や夕方に、幼児・子ども向けの番組やアニメ番組などが多く放送されているため、この視聴傾向はこれまでと変わらない。前年と比べると午前6時30分～7時で増加し、午後0時～0時30分で減少している。

#### (5) アニメ、ヒーロー・戦隊シリーズの視聴率が低め

NHK・民放全体で幼児によく見られた番組は、Eテレ「おかあさんといっしょ」(28.6%)、テレビ朝日「ドラえもん」(25.4%)、フジテレビ「サザエさん」(24.0%) などである(表8)。

前々年、前年と同様に今回も30%を超える番組はない<sup>4)</sup>。

テレビ朝日で金曜午後7時台放送の「ドラえもん」、[クレヨンしんちゃん](23.3%)、フジテレビで日曜午後6時台放送の「ちびまる子ちゃん」(22.3%)、「サザエさん」など、人気のあるアニメ番組がいずれも今回は20%台前半～半ばの視聴率となり、2013年以降20%台後半を維持している「おかあさんといっしょ」がトップとなった。

テレビ朝日で日曜朝に放送されている「仮面ライダーエグゼイド」(20.9%)、「キラキラ☆プリキュアアラモード」(17.0%)は、各々のシリーズにおいて視聴率がこれまでで最も低い値となり、今回は上位10番組に入らなかった<sup>5)</sup>。

#### (6) 2～3歳によく見られているEテレ

年齢別によく見られた番組を比べたのが表9

図4 テレビ総計の30分ごとの平均視聴率（平日）

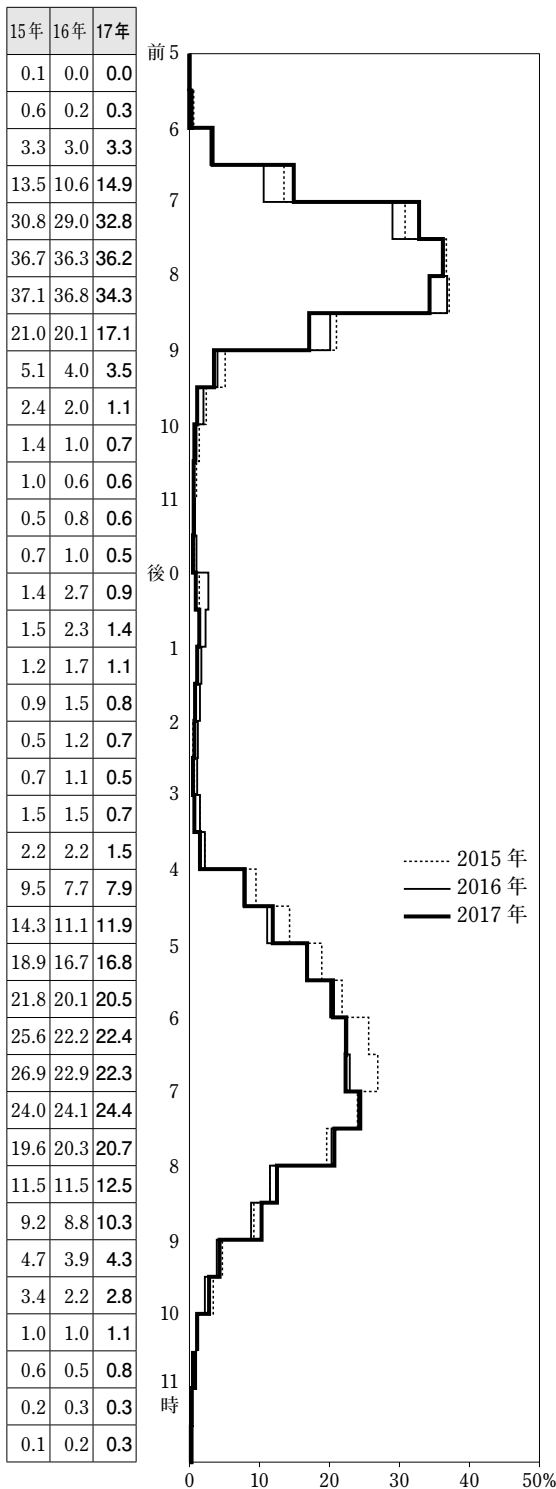


表8 NHK・民放でよく見られている番組（放送時間10分以上）

曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率 (%)
火	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	28.6
金	後 7:00	朝日	ドラえもん	25.4
日	後 6:30	フジ	サザエさん	24.0
金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	23.3
火木	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	22.4
日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	22.3
火	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあっ!	22.2
土	前 8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	21.9
土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	21.9
木	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	21.7

#は帯番組で最も視聴率が高い曜日の数値（以下同様）

である。2～3歳では、「おかあさんといっしょ」をはじめ、Eテレの平日・土曜の朝の番組がよく見られている。4歳以上になると民放のアニメ番組やヒーロー・戦隊シリーズが上位に挙がり、上位10番組のうち過半数が民放の番組となっている。

## 2. NHK テレビの視聴状況

### (1) よく見られている朝7～8時台の番組

Eテレでよく見られた番組は表10のとおりである。「おかあさんといっしょ」(28.6%)、「みいつけた!」(22.4%)、「いないいないばあっ!」(22.2%)など平日午前7～8時台の番組が例年同様に上位となっている。

総合テレビでは、日曜午後7時30分の「ダーウィンが来た!」(3.4%)、月～土曜午前8時の連続テレビ小説「ひよっこ」(月～土平均・2.3%)がよく見られた。

また、BSプレミアムで最もよく見られた番組は、「おとうさんといっしょ」(日曜 前9:00)で、視聴率は2.1%であった。

表9 NHK・民放でよく見られている番組（年齢別）（放送時間10分以上）

(%)

2歳					3歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
月	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	33	火	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	33
月	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあ!	31	月	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	26
水	後 5:45	Eテレ	# キッチン戦隊クックルン	26	土	前 8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	26
土	前 8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	25	土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	25
水	後 5:25	Eテレ	# アニメ はなかつぱ	25	月	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	24
日	後 6:30	フジ	サザエさん	25	水	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあ!	23
日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	24	土	前 8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	23
火	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	24	木金	前 7:15	Eテレ	# アニメ はなかつぱ	21
月水	後 5:10	Eテレ	# えいごであそぼ with Orton	24	日	後 6:30	フジ	サザエさん	20
月水木	後 5:00	Eテレ	# にほんごであそぼ	23	土	前 9:00	Eテレ	アニメ ひつじのショーン	19
木	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	23					

(%)

4歳					5・6歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
月	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	29	金	後 7:00	朝日	ドラえもん	36
日	後 6:30	フジ	サザエさん	26	金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	32
金	後 7:00	朝日	ドラえもん	25	日	前 8:00	朝日	仮面ライダーエグゼイド	28
金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	24	火	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	27
月	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあ!	23	日	前 7:30	朝日	宇宙戦隊キュウレンジャー	26
月	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	23	日	後 6:30	フジ	サザエさん	26
日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	23	木	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	26
日	前 8:00	朝日	仮面ライダーエグゼイド	22	木	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	26
水	後 6:00	Eテレ	# アニメ おじゃる丸	21	日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	26
水	後 6:10	Eテレ	# アニメ 忍たま乱太郎	20	木	前 7:15	Eテレ	# アニメ はなかつぱ	24
日	前 8:30	朝日	キラキラ☆プリキュアアラモード	20					

□ Eテレの番組

表10 Eテレでよく見られている番組  
（放送時間10分以上）

(%)

曜日	放送時刻	番組名	視聴率
火	前 8:00	# おかあさんといっしょ	28.6
火木金	前 7:45	# みいつけた!	22.4
火	前 8:25	# いないいないばあ!	22.2
土	前 8:00	おかあさんといっしょ土曜日	21.9
土	前 8:25	ムジカ・ピッコリーノ	21.9
木	前 7:35	# コレナンデ商会	21.7
水	後 5:45	# キッチン戦隊クックルン	19.3
木	前 7:15	# アニメ はなかつぱ	19.3
土	前 8:35	アニメ おさるのジョージ	19.3
水	後 6:00	# アニメ おじゃる丸	18.0

## (2) Eテレ 幼児・子どもゾーンの 番組の視聴状況

Eテレの平日朝の主な番組の視聴率は表11のとおりである。午前6時35分の「にほんごであそぼ」からEテレの視聴率が伸び始め、「シャキーン!」(前7:00)で10%を超える。それ以降、番組の視聴率が徐々に上がり、「ピタゴラスイッチ ミニ」(前7:30)から「いないいないばあ!」(前8:25)まで20%を超える。朝の時間帯で最もよく見られているのは「おかあさんといっしょ」(前8:00)で27.4%である。「にほんごであそぼ」の視聴率は、前年同時時間帯と比べて増加した(2.1%→4.4%)。年齢別にみると、「オトツペ」(前8:40)以降の番組



表 11 平日 朝の主な Eテレの番組 男女年齢別視聴率

〈 〉は前年の同時時間帯の視聴率 (以下同様) (%)

番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前 6:35 にほんごであそぼ	4.4	〈2.1〉*1	5	4	4	6	3	4
前 6:45 えいごであそぼ with Orton	8.1	〈5.6〉*2	9	8	7	11	7	7
前 6:55 Eテレ 0655	8.1	5.6	9	8	7	11	7	7
前 7:00 シャキーン!	14.7	14.4	17	13	12	17	13	16
前 7:15 アニメ はなかつぱ	18.6	18.9	22	15	18	20	15	20
前 7:25 デザインあ 5分版	18.6	18.9	22	15	18	20	15	20
前 7:30 ピタゴラスイッチ ミニ	20.4	21.7	24	17	20	22	17	21
前 7:35 コレナンデ商会	20.4	21.7	24	17	20	22	17	21
前 7:45 みいつけた!	22.0	22.4	23	21	22	24	20	22
前 8:00 おかあさんといっしょ	27.4	25.6	26	29	31	31	25	24
前 8:25 いないいないばあっ!	21.2	19.7	19	24	28	22	21	17
前 8:40 オトッペ	18.5	〈17.5〉*3	16	21	26	18	19	14
前 8:45 プチプチアニメ	10.1	〈12.3〉*3	9	11	18	9	8	8
前 8:50 てれび絵本	10.1	〈12.3〉*4	9	11	18	9	8	8
前 8:55 みんなのうた	10.1	〈12.3〉*5	9	11	18	9	8	8

■は全体より統計的に高い, □は低い (以下同様)

- \*1 前年は「みんなのうた」(2.1%) 6:35～6:40、「ミニアニメ・うさぎのモフィ」ほか(2.1%) 6:40～6:45
- \*2 前年は「にほんごであそぼ」(5.6%) 6:45～6:55
- \*3 前年は「えいごであそぼ」(14.9%) 8:40～8:50
- \*4 前年は「プチプチアニメ」(12.3%)
- \*5 前年は「てれび絵本」(12.3%)

表 12 土曜・日曜 朝の主な Eテレの番組 男女年齢別視聴率

(%)

曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	前 6:35 いじめをノックアウト	1.4	1.5	2	1	2	2	1	1
	前 6:45 フックブックローミニ	2.3	2.9	2	2	3	2	2	2
	前 6:50 ミミクリーズ	2.3	2.9	2	2	3	2	2	2
	前 7:00 デザインあ	6.6	9.0	6	7	6	9	6	5
	前 7:15 なりきり!むーにゃん生きもの学園	8.3	10.6	7	9	7	11	8	7
	前 7:30 ノーゾーのひらめき工房	12.2	15.8	13	11	8	17	10	12
	前 7:45 ピタゴラスイッチ	13.2	17.2	14	13	13	17	10	13
	前 8:00 おかあさんといっしょ土曜日	21.9	22.2	23	21	25	26	17	21
	前 8:25 ムジカ・ピッコリーノ	21.9	22.6	24	20	23	25	19	21
	前 8:35 アニメ おさるのジョージ	19.3	21.9	20	18	17	23	17	20
	前 9:00 アニメ ひつじのショーン	14.2	14.4	15	14	15	19	13	11
	前 9:20 アニメ はなかつぱ	12.8	12.5	13	13	14	18	10	10
日	前 7:00 みんなのうた	4.1	3.7	4	4	6	3	6	2
	前 7:05 アニメ わしも	4.1	〈3.7〉*1	4	4	6	3	6	2
	前 7:15 オトッペ	4.8	〈5.3〉*2	4	5	7	4	7	2
	前 7:20 どちゃもん あさめしまえ	4.8	5.3	4	5	7	4	7	2
	前 7:30 みいつけた!さん	6.7	5.4	6	8	10	7	7	4

\*1 前年は「アニメ おしりかじり虫3」ほか(3.7%) 7:05～7:10

\*2 前年は「アニメ わしも」(4.5%) 7:10～7:20

が、2歳で全体より高い。午前8時を過ぎると幼稚園・保育園に通っている幼児の多くは家を出る<sup>6)</sup>ため、未就園児の多い2歳の視聴が3歳以上と比べて多くなることによる。

土曜・日曜の朝の番組視聴率をみると(表

12)、土曜は「おかあさんといっしょ土曜日」(前8:00)、「ムジカ・ピッコリーノ」(前8:25)、「アニメ おさるのジョージ」(前8:35)と、午前8時台の番組がいずれも20%前後とよく見られている。日曜の午前7時台の幼児・子ども向



け番組の視聴率は5%前後で、いずれも前年と同程度であった。

Eテレの平日夕方の主な番組視聴率をみる

と(表13)、午後4時から徐々に視聴率が増加し、午後5時から6時10分までの番組が15%前後とよく見られている。全体の視聴率では、

表13 平日 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率 (曜日の表記があるもの以外は月～金平均)

番組名		全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
後 4:00	みんなのうた	4.8	5.0	5	5	10	5	3	4
後 4:05	いないいないばあっ!	5.2	<5.5>*1	5	6	11	5	3	4
後 4:20	おかあさんといっしょ	7.5	<8.0>*2	7	9	15	7	6	5
後 4:45	みいつけた!	9.9	<9.4>*3	8	12	18	10	8	7
後 5:00	にほんごであそぼ	13.7	<12.4>*4	13	15	21	12	11	13
後 5:10	えいごであそぼ with Orton	13.8	<12.7>*5	13	15	21	12	11	14
後 5:20	ミニアニメ・うさぎのモフィ ほか	14.0	12.9	13	15	20	12	12	14
後 5:25	アニメ はなかつぱ	14.8	14.0	15	15	20	13	13	15
後 5:35	月 ミミクリーズ	17.4	16.5	17	18	22	18	15	16
	火 コレナンデ商会	15.9	15.2	16	16	18	15	15	16
	金 ムジカ・ビッコリーノ	12.6	13.9	14	11	16	13	10	13
後 5:35	(水木) ビタゴラスイッチ ミニ ほか*6	16.3	14.8	17	16	23	13	13	18
後 5:40	(水木) ノージーのひらめき工房ミニ ほか*7	16.3	14.8	17	16	23	13	13	18
後 5:45	ゴー!ゴー!キッチン戦隊クックルン	17.6	15.8	18	18	22	16	16	18
後 5:55	オトッペ*8	17.6	15.8	18	18	22	16	16	18
後 6:00	(月火) アニメ わしも	16.1	15.6	16	16	20	15	14	17
	(水～金) アニメ おじやる丸	15.7	13.4	17	14	18	13	17	16
後 6:10	アニメ 忍たま乱太郎	14.8	13.9	16	14	16	13	15	16
後 6:20	(月～木) 天才てれびくん YOU*9	12.6	13.0	14	11	11	11	14	14
後 6:45	月 わらたまドッカ～ン*10	10.6	10.6	12	10	10	12	10	11
	火 アニメ 少年アシベ GO! GO! ゴマちゃん	9.3	10.6	11	7	7	9	10	10
	水 アニメ ねこねこ日本史	9.9	9.2	12	7	5	9	14	10
後 6:20	金 ビットワールド	9.0	7.7	11	7	11	8	7	10
後 6:55	(月～木) Rの法則	4.0	2.7	5	3	4	4	5	4
	金 Eダンスアカデミー	2.9	2.7	4	2	3	4	2	3

\*1 前年は「えいごであそぼ」後4:05～4:15  
 \*2 前年は「いないいないばあっ!」後4:15～4:30  
 \*3 前年は「おかあさんといっしょ」後4:30～4:55  
 \*4 前年は「みいつけた!」後4:55～5:10  
 \*5 前年は「にほんごであそぼ」後5:10～5:20

\*6 前年は「マリー&ガリー」ほか  
 \*7 前年は「ビタゴラスイッチミニ」ほか  
 \*8 前年は「ニャンちゅうワールドミニ」  
 \*9 前年は「Let's 天才てれびくん」  
 \*10 前年は「ドラマ・念力家族」

表14 土曜・日曜 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	後 5:00 おかあさんといっしょ土曜日	6.4	6.0	7	6	9	10	4	4
	後 5:25 アニメ 少年アシベ GO! GO! ゴマちゃん	6.6	<6.2>*1	7	6	9	8	5	6
	後 5:35 アニメ 境界のRINNE 3	6.6	<6.3>*2	7	7	7	6	5	8
	後 6:00 アニメ スポンジ・ボブ	6.8	6.6	7	7	9	7	5	7
	後 6:25 海外ドラマ サンダーマン シーズン2*3	4.4	4.3	5	4	4	4	4	5
後 6:50 エイゴビート	3.7	3.1	4	3	3	2	4	5	
日	後 5:00 ニャンちゅうワールド放送局	6.5	4.8	7	7	14	5	5	5
	後 5:25 ミニアニメ・ミッフィーのぼうけん	6.6	5.3	7	7	15	5	5	5
	後 5:30 きかんしゃトーマス	7.4	6.1	9	6	16	4	6	7

\*1 前年は「おとうさんといっしょミニ」後5:25～5:30  
 \*2 前年は「アニメ 境界のRINNE 2」後5:30～5:55  
 \*3 前年は「海外ドラマ サム&キャット」

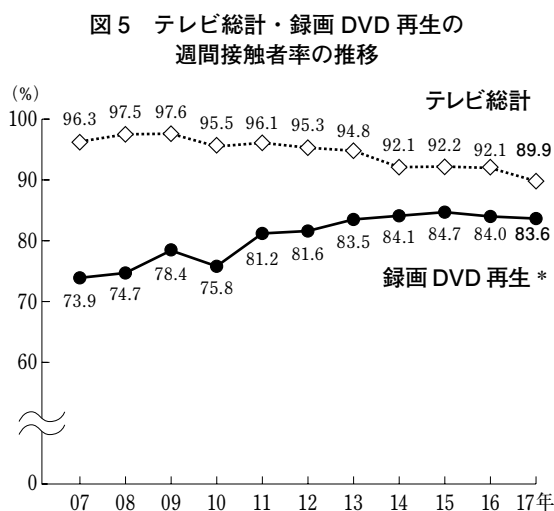
いずれの番組も前年と変化はない。年齢別にみると、午後4時から5時20分までの番組が、全体と比べて2歳でよく見られている。

土曜・日曜の夕方の番組視聴率は表14のとおりで、土曜は「アニメ スポンジ・ボブ」(後6:00)まで、日曜は午後5時台のいずれの番組も6%以上である。日曜は午後5時台の番組視聴率が、2歳で全体より高い。

### 3. 録画番組とDVDの利用状況

#### (1) 録画番組・DVDの再生時間、週間接触者率は横ばい

本調査では、テレビ視聴状況とともに、録



\* 調査票での選択肢は「ビデオの再生」(~2008)、「ビデオ・DVDの再生」(2009・2010)、「ビデオ・HDD・DVDの再生」(2011・2012)、「録画番組やDVDの再生」(2013~)と変遷している。報告上は2012年まで「ビデオ再生」、2013年から「録画DVD再生」としている

画番組と市販のDVDやビデオの再生状況も同様に記入してもらっている。ここからは録画番組やDVDの利用状況を紹介する。

1週間に少しでも録画番組やDVDを見た幼児(週間接触者率)は83.6%で、前年(84.0%)と同程度である。長期的にみると、2000年代後半は70%台で、2011年に増加し80%を超えたが、2013年以降は横ばいとなっている(図5)。

次に再生時間をみると(表15)、利用していない幼児も含む1日あたりの録画DVD再生時間は55分であった。前年は年齢別に大きな差はみられなかったが、今回は2歳が1時間を超えて長めで、5・6歳が短めである。

曜日別に録画DVD再生時間をみると(図6)、土曜・日曜はともに1時間を超え、平日と比べて長い。テレビ視聴時間と録画DVD再生時間をあわせた1日のトータルの視聴時間に占める割合をみると、土曜は4割を超え、平日・日曜と比べて高い。

図6 曜日別録画DVD再生時間とテレビ視聴時間

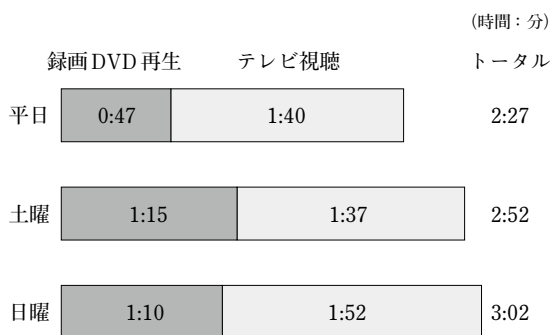


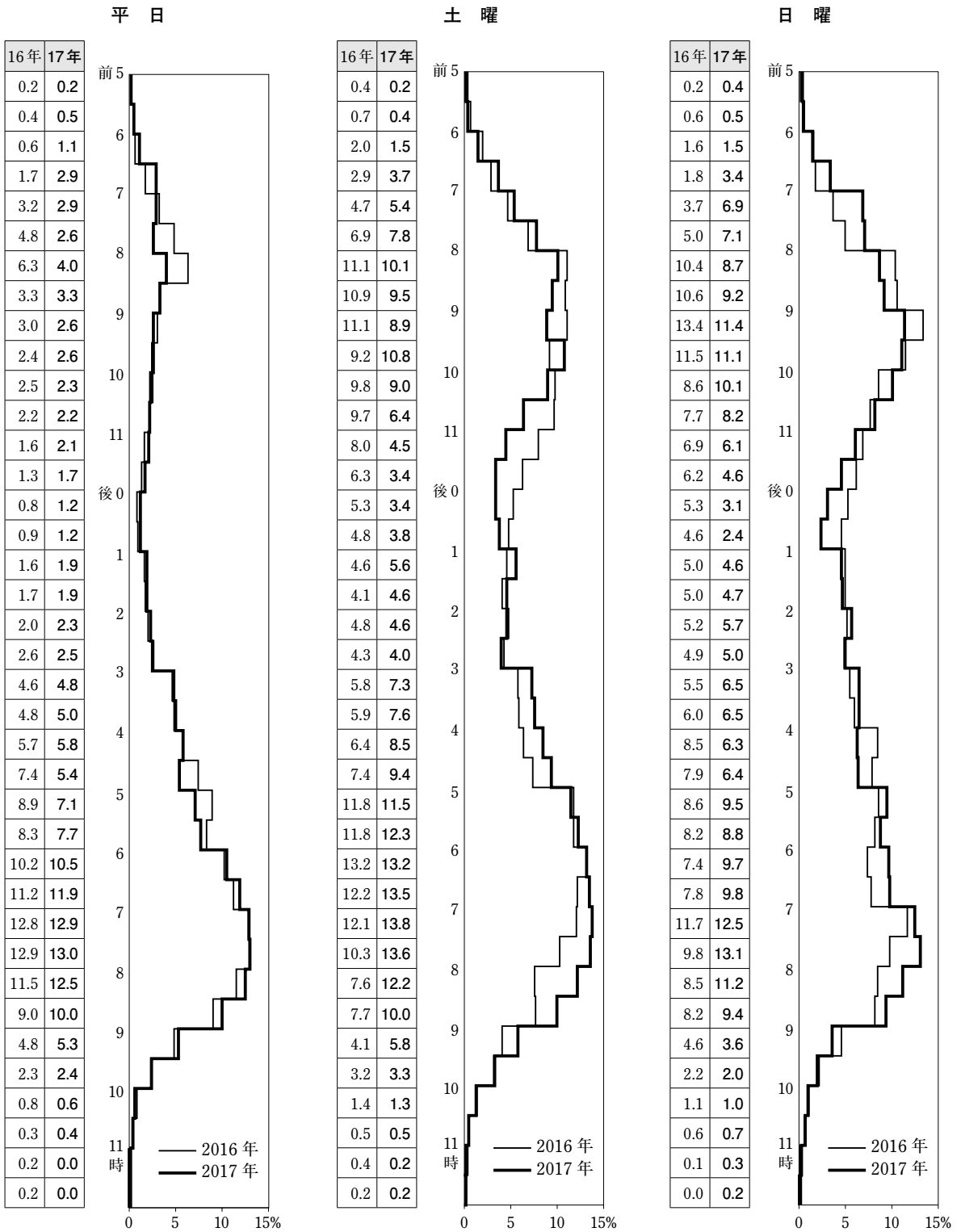
表15 録画DVD再生時間\* (1日、週平均)

(時間:分)

	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児
15年	0:52	0:56	0:49	0:58	0:50	0:49	0:55	0:44	0:57	0:54
16年	0:54	0:55	0:54	0:58	0:54	0:51	0:54	0:52	0:54	0:58
17年	0:55	0:57	0:52	1:04	0:54	0:55	0:49	0:54	0:51	1:18

\* 録画DVD再生を利用していない幼児も含む

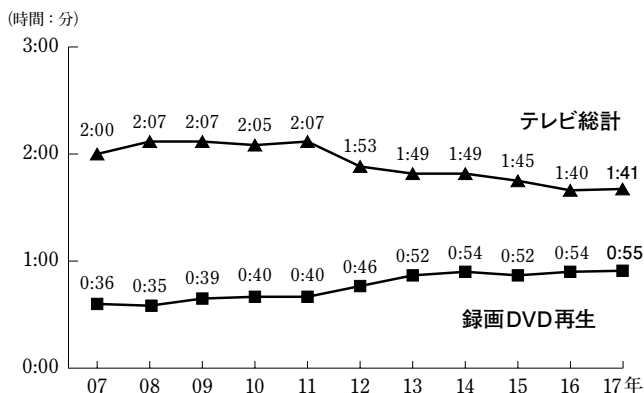
図7 録画DVD再生の30分ごとの平均利用率（平日・土曜・日曜）



録画DVD再生の30分ごとの平均利用率を見ると(図7), 平日よく利用されているのは午後3時30分~9時30分で, 特に午後6時~9時で10%以上と高い。土曜・日曜は夜間に加えて午前にも利用の山があり, そのほか午後

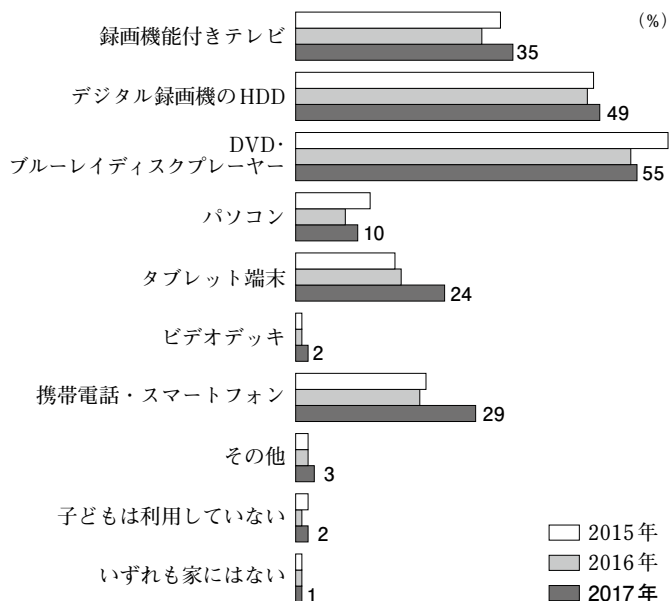
の時間帯も5%前後と, 1日を通して平日より利用されている。前年と比べて, 土曜は午前10時30分~午後0時で減少し, 午後8時~8時30分で増加した。日曜は午前7時~7時30分で増加した。

図8 テレビ視聴時間と録画DVD再生時間の推移 (1日, 週平均)



2007年以降の録画DVD再生時間とテレビ視聴時間の長期推移を図8に示した。録画DVD再生は, 2011年まではほぼ横ばいだったが, 2011年から2013年にかけて増加し, それ以降は同程度で推移している。一方のテレビ視聴時間は, 前述のとおり2012年に2時間を下回って減少し, その後も緩やかな減少傾向であったため, 2012年以降, テレビ視聴と録画DVD再生との時間量の差は縮まっている状況が続いている。

図9 録画番組, 市販・レンタルDVD, インターネット動画を見るとき多く利用する機器 (複数回答)



## (2) 「携帯・スマートフォン」

### 「タブレット端末」利用が増加

付帯質問で, 幼児が録画番組や市販・レンタルDVD, インターネット動画などを見るときに多く利用する機器を複数回答で尋ねた(図9)。最も多いのは「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」(55%)で, 続いて「デジタル録画機のハードディスク(HDD)」(49%), 「録画機能付きテレビ」(35%)が多く利用されている。前年, 前々年と比べると, 「携帯電話・スマートフォン」(21%→20%→29%), 「タブレット端末」(16%→17%→24%)が増加している。

### (3) インターネット動画を見る幼児の増加が続く

同様に付帯質問で、休日を除くふだんの日1日に「録画した番組」「市販・レンタルDVD」「インターネット動画」をそれぞれどのくらい再生して見ているかを尋ねた。

その中で「15分未満」から「2時間以上」まで「見る」と答えた人すべてを足し上げると（視聴計）、録画した番組を見る幼児は73%、市販・レンタルDVDなどを見る幼児は35%、インターネット動画を見る幼児は47%で、録画番組を見る幼児が最も多い（表16）。前年、前々年と比較すると、インターネット動画を見る幼児が増加している。前々年と比べ2～4歳で、前年と比べ3～4歳で増加した。

それぞれの再生時間をみると、録画した番組は「30分以上1時間未満」が最も多く、イ

ンターネット動画の利用は「30分未満」が多い（図10）。

#### まとめ

幼児のテレビ視聴時間は2012年に減少し、以降緩やかな減少傾向にある一方で、録画番組・DVDの再生時間は2013年以降変化がなく、差が縮まっている状況が続いている。

週間接触者率をみると、テレビ総計は2012年（95.3%）から漸減しており、今回は89.9%と調査開始以降初めて9割を下回った。Eテレの接触者率は72.3%と堅調に推移しているが、民放各局の接触者率は、低めとなった前年と同程度であった。

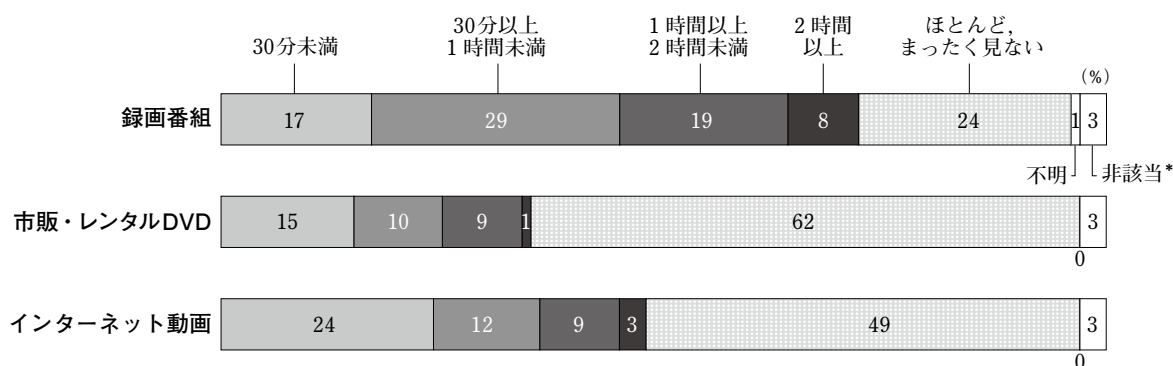
録画番組・DVD再生の週間接触者率は2013年頃まで漸増傾向にあったが、それ以降

表16 録画番組、市販・レンタルDVD、インターネット動画の視聴計

	全体			男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
	15年	16年	17年						
録画番組	71	73	73	71	75	77	68	73	75
市販・レンタルDVD	39	35	35	37	33	35	35	37	33
インターネット動画	31	38	47	53	42	55	53	48	39

(%)

図10 録画番組、市販・レンタルDVD、インターネット動画の1日の再生時間の分布



\* 非該当は録画再生機器などが「家にあるが子どもは利用していない」と「いずれも家にはない」の回答者

は同水準で推移しており、録画番組やDVDを再生するときの「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」の利用率も変わらないことから、録画やDVDを視聴する人の増加は一段落した可能性があると考えられる。一方で、インターネット動画を見る幼児の増加は続いている。

前年の報告<sup>7)</sup>では、「携帯電話・スマートフォン」や「タブレット端末」といったモバイル端末の利用は、その伸びが止まったと述べた。しかし今回の結果では、前々年までの傾向と同様に、録画番組やDVD、動画を視聴する際に幼児が使用する機器がモバイル端末へとシフトする動きは着実に続いているようである。

自由記述の回答欄<sup>8)</sup>からは、有料・無料の動画サービス、放送と連動するデータ放送やアプリなどを楽しむ幼児の姿が浮かび上がってきた。また、保護者としては英語やしつけなど子どもの教育に直接役立つ内容をテレビ番組に期待する声がみられ、能動的にテレビ番組を利用しようとする様子も垣間見えた。

幼児のテレビの接触者率や視聴時間の長期的な減少傾向の背景には、映像視聴媒体や動画配信サービスの多様化などメディア環境の変化のほか、働く母親の増加<sup>9)</sup>、幼児の早寝早起き化や保育園児の在園時間が長時間化していること<sup>10)</sup>など幼児の生活環境の変化、メディアや子育てに向き合う保護者の意識など、さまざまな要因があると考えられる。

幼児のテレビ視聴の動向を引き続き注視していくとともに、映像視聴行動に影響があると考えられる日常の生活行動や、保護者の意識についても把握できるような調査の設計を検討していきたい。

(ほし あきこ/わたなべ ようこ)

注：

- 1) 塚本恭子/吉藤昌代/斉藤孝信/行木麻衣「テレビ・ラジオ視聴の現況～2017年6月全国個人視聴率調査から～」『放送研究と調査』2017年9月号
- 2) テレビ視聴、および録画番組や市販のDVDなどの再生について、調査を開始した1990年から2012年まで「家庭内での視聴のみ」としていたが、デジタル録画再生機器の普及を背景に、2013年から「家族で移動中(車中など)の視聴も含む」とこととした。幼稚園や保育園での視聴は、これまでどおり含めていない。
- 3) 白石信子「幼児で高い夕方のテレビ視聴～2000年7月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2000年11月号で、幼児と母親の視聴時間の関連性を述べている。
- 4) 高位番組には、1990年代前半は視聴率60%以上、1990年代後半は50%以上、2000年代は2007年を除き、40%以上の番組があった。2010年以降は30%以上の番組があったが、前々年に初めて30%を超える番組が1本もなくなった。
- 5) 調査週に放送がなかった年を除くと、「仮面ライダーシリーズ」は、2000年代前半は視聴率35%を超え、2007年以降2014年まで25%を超えていた。また「プリキュアシリーズ」は、2005年の放送開始以降2014年まで視聴率20%を超えており、2005、2007、2009年は30%を超えた。
- 6) 「幼児生活時間調査」(2013年3月、東京50キロ圏に住む0歳(4か月)～就学前の幼児1,500人を調査相手とし、NHK放送文化研究所が実施)によると、午前8時30分には、幼稚園児の45%、保育園児の73%が在園している。
- 7) 星暁子「幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況～2016年6月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2016年11月号
- 8) 調査の付帯質問で、録画番組・DVD・インターネット動画・アプリについてお気に入りの番組名、タイトルを尋ねているほか、NHKの幼児番組についての自由記述欄を設けている。
- 9) 調査の付帯質問で母親の職業について尋ねており、専業主婦は2007年の65.7%から今回は45.6%に、勤め人(フルタイム)は2007年の12.4%から今回は28.6%になっている。
- 10) 中野佐知子「幼児のテレビ視聴時間の減少とその背景～幼児生活時間調査・2013の結果から～」『放送研究と調査』2013年11月号で、幼児のテレビの行為者率・時間量の減少や、早寝早起き化、保育園児在園時間の長時間化などについて報告している。